

下関市 高潮 ハザードマップ

Shimonoseki City Storm Surge Disaster Risk & Information
下関市 高潮災害地図
シモノセキシ 폭風이나 해일 해지드맵

あなたの家は大丈夫？ マップで確認を!!

令和8年(2026年)3月作成
下関市防災危機管理課
TEL 083-231-9333

下関市防災情報

■高潮について知っておこう

高潮の起こる仕組み

台風や発達した低気圧が通過するとき、潮位が大きくなり、これを「高潮」といいます。

①吸い上げ効果
台風や低気圧の中心気圧は周囲より低いため、周辺の大気圧は海面を押し上げ、中心付近の空気が海面を吸い上げようとする作用し、海面が上昇します。

②吹き寄せ効果
台風に伴う強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。

高潮被害が発生しやすい条件

高潮は、台風の進路や潮位、周辺の地形などによって影響を受けます。

- 台風の進路
台風は、進行方向の右側で風が強くなります。また、周防灘では、関門海峡が非常に狭くなっているため、東からの強い風によって吹き寄せられる海水が玄界灘に流れ出る量より大きくなり、高潮が発生しやすくなります。
- 台風接近時の潮位
潮位の高い満潮時刻の前後に台風が接近すると、高潮発生危険が高くなります。特に、大潮（満月や新月）のときは、満潮時の潮位が高くなり、高潮はより大きくなります。

平成11年台風18号発生時の宇部湾における潮位データ
※天文潮位(月・地球・太陽の引力などから計算した求めた海面の高さです。普段はほぼ天文潮位とおり海面が上下します。)

過去の災害記録

下関市の北岸は、南岸と比べると過去に大きな高潮被害が発生していませんが、日本海に面し、外洋に開けた地形をしているため、日本海を進む低気圧の通過に伴う気圧低下により高潮が発生しやすい特徴があります。特に、湾奥部や入り江状の地形を有する区域では、風による吹き寄せ効果によって海水位が上昇し、浸水被害が生じた事例もあります。

昭和17年(1942年) 周防灘台風
8月21日に南の海上で発生した台風は、九州西岸に台風通過時が大潮の満潮時と重なり、強風により高潮が発生、周防灘一帯で甚大な被害が発生しました。

平成11年(1999年) 台風第18号
沖縄の南海上で発生した台風は、熊本県北部に上陸した後、九州北部を通り、9月24日9時前に山口県宇部市付近に再上陸しました。九州北部地方や中国地方瀬戸内海沿岸では、台風が通過した24日に著しい高潮となり、下関市でも大きな被害が発生しました。

	周防灘台風	台風第18号
年月日	昭和17年(1942年)8月27日	平成11年(1999年)9月24日
最低気圧(hPa)	966.7	962.6
最大風速(m/s)	E34.2	NW19.0
最大瞬間風速(m/s)	ESE37.8	E41.9
潮位	下関 王司 清末 小月 王喜 2m 3m 2.5m 4m 1.5m	下関港弟子待 3.12m
被害状況	・死者44、行方不明者23、負傷者216 ・家屋流失239、全壊106、半壊371、浸水1,867	・重傷者4、軽傷6・全壊4、半壊33、 床上浸水650、床下浸水1,300、一部損壊566

気圧・風向・風速等の値は、下関地方気象台の観測値 (出典)下関市地域防災計画

●周辺の地形

高潮による海面上昇は、海底地形や海岸形状により大きく変わります。つぎのようなところでは、特に高潮に対する注意が必要です。

- ゼロメートル地帯
平均海面より低い土地は浸水の危険性が高い。
- 急に深くなる海岸近く
押し寄せた波が海岸の近くで一気にかかる。
- 湾の奥
押し寄せた海水がたまり湾内の水位が上がる。
- 河口の周り
高潮と河川の氾濫が重なる。

■災害に備えて情報をおつめよう

- ホームページから取得
下関市ホームページ
ハザードマップ、指定避難所情報等
- 国土交通省 川の防災情報
全国の雨量/水位、河川の予警報、ダム情報等
- 気象庁 あなたの街の防災情報
下関市を選択/市の気象警報・注意報、災害危険度等
- 山口県高潮防災情報システム
山口県の観測局の潮位・気圧/風速・風向の情報等
- 山口県土木防災情報システム
山口県の雨量/河川の水位・ダムの観測情報等
- 防災アプリから取得(スマホを使って取得)

下関市 防災メール

スマホやパソコンなどで事前登録しておけば、気象情報・地震情報・避難指示などの避難情報をはじめ、交通安全・防犯情報、火災情報などの希望する情報を自動的に受信。

登録はこちら(空メール送信)
bousai.shimonoseki-city@raidens3.ktaiwork.jp

●報道機関や防災行政無線の情報(パソコンやスマホがなくても大丈夫)

- テレビ
リモコンの「dボタン」を押すと災害情報を表示できます。
- ラジオ周波数
NHK山口 第1放送1026(KHz)
NHK山口 第2放送1359(KHz)
山口放送(KRY豊浦FM)86.4(MHz)
NHK FM山口(豊浦) 81.3(MHz)
NHK FM山口(豊北) 81.9(MHz)
FM山口(豊浦)78.3(MHz)
COME ON! FM (エフエムしものせき) 76.4(MHz)
- 防災行政無線
しものせき緊急情報自動案内
電話で、屋外スピーカーなどから広報した内容や避難に関する情報などを確認できます。
ご利用には通話料金が掛かります。
050-5527-2304

■防災メモ

記入した後、コピーするか携帯電話などで撮影して、各自が持ち歩けるようにしておきましょう。

●家族の集場所はどこですか? ●最寄りの避難場所はどこですか?

集場所	避難場所

●家族の連絡先などを書き込んでおきましょう!

氏名	続柄	血液型	生年月日	持病・アレルギー	携帯電話・学校・勤め先など

■マイタイムラインをつくらう

高潮は、そのほとんどが台風の接近とともに発生します。警戒レベルにあわせた対応を確認する「マイタイムライン」をつくりましょう。なお、台風に伴い、大雨が続いている時は、洪水や土砂災害への警戒が必要です。

気象状況	接近(早期注意情報の発表)	台風接近の1日前	暴風域に入る数時間前	※急に猛烈な雨や風になることも
警戒レベルと状況	警戒レベル1 今後気象状況悪化のおそれ	警戒レベル2 気象状況悪化	警戒レベル3 災害のおそれあり	警戒レベル4 災害のおそれ高い
避難情報等*2	早期注意情報(気象庁) ※5日先までに警報級の現象が予想されるときに発表	高潮・大雨・氾濫・土砂災害注意報(気象庁)	高齢者等避難(下関市発令)	避難指示(下関市発令)
警戒レベル相当情報	高潮 大雨 河川氾濫*3 土砂災害	高潮注意報 大雨注意報 氾濫注意報 土砂災害注意報	高潮警報 大雨警報 氾濫警報 土砂災害警報	高潮危険警報 大雨危険警報 氾濫危険警報 土砂災害危険警報
住民が取るべき行動	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認する	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備	危険な場所から全員避難
行動を確認	<input type="checkbox"/> 災害への心構えを高める <input type="checkbox"/> テレビ・ラジオの天気予報に注意する <input type="checkbox"/> 家族の予定を再確認 <input type="checkbox"/> 屋外の安全確認 <input type="checkbox"/> 非常持出品の準備 <input type="checkbox"/> 備蓄品のチェック	<input type="checkbox"/> ハザードマップなどで避難行動を確認 <input type="checkbox"/> 満潮時間の把握 <input type="checkbox"/> 安否確認方法の確認 <input type="checkbox"/> 河川の情報等に注意 <input type="checkbox"/> 危険地域に住む親類へ連絡 <input type="checkbox"/> 携帯電話を充電	次のような人は避難開始 <input type="checkbox"/> 高齢者・障がいのある方・妊婦等 <input type="checkbox"/> 自宅等が高潮浸水想定区域内で自宅に留まると危険な人 <input type="checkbox"/> 土砂災害や洪水の危険がある人 <input type="checkbox"/> 安全な避難場所が近くに無い人 <input type="checkbox"/> 避難経路に危険な場所がある人 <small>※その他の人も普段の行動を見合わせたり自主的に避難を開始</small>	危険な場所から全員避難完了 <input type="checkbox"/> 危険な場所にいる人は、速やかに全員避難 <input type="checkbox"/> 危険を感じたときは、少しでも安全な場所へ避難(頑丈な建物の上階等)
あなたの行動を書き出してみよう				

※令和8年5月からの防災気象情報に基づく表示です。

●危険度が高まる時間帯→テレビや気象庁HPで「早期注意情報」や「危険度を色分けした時系列」を確認

●命の危険を感じるような風や大雨
警戒レベル5
災害発生又は切迫
緊急安全確保*1
(下関市発令)
▶高潮特別警報
▶大雨特別警報
▶氾濫特別警報
▶土砂災害特別警報
命の危険
直ちに安全確保!
自宅や近隣の建物で緊急的に安全を確保
▶少しでも上階に移動する
▶崖から離れた部屋に移動するなど
に移動

■屋外の安全確認

屋根: 瓦のひび、トタンのめくれはないか
 雨どい: つまりや雑草が目にはずれないか、落ち葉や土砂が詰まっていないか
 窓ガラス: 暴風雨に備え、雨戸や防災フィルムなどで保護
 ベランダ: 物干し竿、鉢植えなど飛散しやすいものは屋内へ
 ブロック塀・外壁: ひび割れ、破損はないか、板壁の場合腐りや浮きはしないか
 側溝: 目詰まりはないか
 周囲: プロパンガスのボンベは固定されているか

■非常持出品 家族にあった持出品を書き出しておこう

軍手・手袋 携帯電話・充電器 雨具 懐中電灯 ビニール袋
 貴重品・・・ 現金(小銭) マイナンバーカード 口座番号のコピー
 食料・・・ 飲料水 食料(3日分)
 衛生用品・・・ 常備薬 生理用品 洗面用具
 感染予防・・・ マスク 体温計 消毒液 スリッパ
 衣料品・・・ 下着 ぐつした タオル 冬季は厚手の服
 おちやん用品・・・ ミルク 紙おむつ おもちゃ
 高齢者用品・・・ 持病薬 お薬手帳 紙おむつ

■備蓄品(在宅避難に備えて)

飲料・・・ 飲料水(ひとり1日3リットル)
 食料・・・ アルファ米 缶詰類 レトルト食品
 インスタントラーメン 3日め
 ※保存食を日常的に消費し、食べた分だけ買い足していく「ローリングストック」がおすすめです。
 生活用品・・・ 使い捨ての皿・コップ
 カセットコンロ・ボンベ
 ラップ アルミホイル

■あなたがとるべき避難行動は?

自宅等、家族の居場所にハザードマップで色が塗られていますか。(裏面の地図で浸水の深さを知る)

いいえ → 周りより低い土地やけのそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい →

■高潮ハザードマップの浸水深

- 10.0~20.0m未満の区域
2階の屋根以上が浸水
早期立退きが必要な区域にいる場合、外が晴れいつにも直雨が強くなる前に逃げる自宅以外の安全な場所へ**避難**
- 5.0~10.0m未満の区域
2階の屋根まで浸水
すでに浸水が始まっていたり、暴風雨で外に出ることが危険な時、今いる建物の上層または近くの高い建物へ**避難**しましょう
- 3.0~5.0m未満の区域
2階の屋根まで浸水
自宅が安全な場合は(マンションの上層など浸水する深さより高い場合)自宅**で安全確保**
- 0.5~3.0m未満の区域
2階の床下まで浸水
自宅**で安全確保**
- ~0.5m未満の区域
1階床下まで浸水
自宅**で安全確保**

浸水しない

※夜間に危険が予想される場合は、警戒レベルに関係なく、明るいうちに避難しましょう。

高潮浸水継続時間

【凡例】
浸水継続時間
→12時間
12~24時間(1日)
24~72時間(3日)
72~168時間(1週間)
168時間~

土砂災害ハザードマップも確認!

下関市ホームページやしもまちアプリでも確認できます。